

知事コメント

- 1 本日、第1回目となる「沖縄県新型インフルエンザ等対策会議」を開催し、5類移行後における新型コロナの発生状況などについて確認をいたしました。
- 2 新型コロナの5類移行に伴い、新規感染者数の把握が全数把握から定点報告へと変更されたところですが、直近の5月15日から21日までの1週間における定点当たり新規感染者数は10.80人となっており、前週の5月8日から14日までの6.07人の1.8倍に増加しています。これは全国平均の3.56人を大幅に上回り、2週連続で全国ワーストの感染者数となっています。一部の医療機関では、院内クラスターが発生し、予定手術・検査の延期などの対応が取られています。
- 3 また、入院患者数は、5月8日の143人に対して、5月21日には292人と大幅に増加しているため、5月25日から、本島地域の医療フェーズをレベル3Bからレベル4へ、宮古地域についてはレベル1からレベル2に引き上げを行いました。
- 4 季節性インフルエンザでは、定点当たりの新規感染者数が10人を越えた場合には、注意報が発せられることになっています。新型コロナでは、このような基準は示されていませんが、本県の定点当たりの新規感染者数が10.80人となり、流行が拡大傾向にあるため、本日は、私から県民の皆さまに次の3点をお願いさせていただきます。

(症状があるなら外出を控える)

- 5 まず、1点目、症状がある場合は外出を控えてくださるようお願いいたします。医療関係者からは、「今、風邪をひいたと感じるのであれば、新型コロナである可能性が高い」との意見があります。発熱や咳などの症状を認める方は、学校や仕事を休むこともご検討いただき、可能な限り外出を控えてくださるようお願いいたします。発症後一定期間は周りの方へ感染させるリスクがあります。やむを得ず外出する場合は、マスクの着用にご協力をお願いいたします。換気の悪い場所や人混みを避けていただくことも大切です。症状が軽いからといって、食事会などのイベントに参加することは、くれぐれも控えるようお願いいたします。

(高齢者などハイリスク者を守る)

- 6 2点目は、高齢者などのハイリスク者を守るためのご配慮をお願いいたします。新型コロナに感染しても、若者は軽症で推移することが多いと言われております。しかし、持病のある方や高齢者、妊婦にとっては、重症化することもある危険な感染症です。症状がある方は高齢者などのハイリスク者との接触はお控えいただき、会われる方も、マスクの着用を推奨します。特に、医療機関には、重症化リスクの高い方が多数いらっしゃいます。マスクの着用については、この3月から個人の判断に委ねることを基本としておりますが、医療機関においては、マスクの着用など感染対策への協力が得られない場合は、入館や診察を断られる場合もありますので、施設管理者からマスクの着用を求められた場合は、指示に従うようお願いいたします。

(感染リスクを理解して行動する)

- 7 最後に、県民の皆さまにおかれては、感染のリスクが高いことに注意してくださるようお願いいたします。新型コロナに感染しやすいのは、多人数が屋内に集まって、長時間を過ごすような状況です。マスクを着用しなければ、更に感染するリスクが高まります。例えば、多人数での飲み会などが挙げられます。法律上、新型コロナは5類に分類されており、感染対策は個人の選択を尊重し、個人の判断に委ねることが基本となります。県民の皆さまにおかれては、感染リスクが高い状況を正しく理解していただき、これまで身につけた手洗いや換気、推奨される場面でのマスクの着用など、ご自身や周りの方が感染しないような行動をお願いいたします。
- 8 以上3点について、どうぞ皆さま心にとめていただければと思います。医療や介護の現場で、高齢者などのハイリスク者を守るために全力を挙げてくださっている方々がいらっしゃいます。県民の皆さまお一人お一人が、感染を拡げないよう配慮することが、持病のある方や高齢者、妊婦を守ることにつながります。医療や介護の現場で奮闘されている方々にどうぞ力を貸してください。よろしく申し上げます。
- 9 沖縄県としては、県民の生命と健康を守りながら、平時の社会を取り戻すことができるよう、医療、介護従事者をはじめとする関係者の皆さまと連携し、必要な取組を継続するなど、感染対策に引き続き取り組んでまいりますので、県民の皆さまにおかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。